

関東地区技能検定委員・技能グランプリ審査委員長(HRS人材育成委員) 野尻 誠 氏(のじり まこと) 令和4年度「東京都優秀技能者(東京マイスター)知事賞」受賞

令和4年11月2日(水曜日)新宿パークタワーホールにて開催された令和4年度「東京都優秀技能者(東京マイスター)知事賞」表彰式において野尻氏が東京都優秀技能者(東京マイスター)知事賞を小池東京都知事より贈呈されましたのでご紹介いたします。野尻氏は株式会社帝国ホテルで30年以上レストランサービスに従事し、第24回技能グランプリでは厚生労働大臣賞(金賞)を受賞。高いサービス技能を有していらっしゃいます。国家検定であるレストランサービス士技能検定試験においても試験委員を務め、後進の指導・育成に貢献している点が評価されての受賞となりました。

受賞コメント



この度、一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会よりご推薦いただき、東京都より令和4年度「東京都優秀技能者(東京マイスター)知事賞」を受賞することとなり、大変光栄に思うと同時に、協会関係者及び職場の先輩や同僚の皆様への感謝の気持ちでいっぱいです。

誠にありがとうございました。

私が2007年の技能グランプリで優勝して以降、毎年サービスコンクールの運営業務や審査、技能検定の検定委員などに関わらせていただくようになり15年が過ぎました。サービスコンクールに於いては、毎年全国から多くの若手選手が挑戦し、切磋琢磨して技術の向上を目指しています。それを目の当たりにするたびに、自分自身も初心に戻り、エネルギーをもらっているような感じになります。コンクールでは上位に入賞出来る人数は限られておりますが、コンクールで一番大事なポイントは出場するまでの過程にあり、検定試験も同様です。選手は目標があることにより知識を深めたり、技術を磨いたり、先輩同僚と話し合い試行錯誤を重ね努力します。そのことにより

選手自身の成長が大きく促がされ、接客にも幅が出てくると思います。また、この経験は本人の大きな自信となり、職場でも大いに活躍していただけたと思います。このような人材を更に増やしていくことが、長年この業界に従事してきた者の責務だと思っておりますので、この目標に向かって私自身も引き続き努力をして参りたいと思います。

今日まで協会のお手伝いをさせていただいてきましたが、今回この賞を受賞し、若手の人材育成の重要性を再認識し、業界の地位向上と発展を微力ながらお手伝いしていければと思っておりますので、今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

